



平成 22 年 7 月 7 日

各 位

会社名 イワキ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岩城 修
 (コード番号 8095 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役 高野 滋
 (TEL. 03-3279-0481)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 1 月 15 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 22 年 11 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 12 月 1 日～平成 22 年 5 月 31 日)
 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	24,800	140	250	110	4円57銭
今回修正予想 (B)	24,469	241	277	69	2円87銭
増減額 (B-A)	△330	101	27	△40	△1円70銭
増減率 (%)	△1.3	72.4	10.9	△37.2	△37.2
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 11 月期第 2 四半期)	22,781	12	△395	△473	△19円68銭

平成 22 年 11 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 12 月 1 日～平成 22 年 11 月 30 日)
 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	50,600	530	720	350	14円54銭
今回修正予想 (B)	50,600	530	640	250	10円39銭
増減額 (B-A)	—	—	△80	△100	△4円15銭
増減率 (%)	—	—	△11.1	△28.6	△28.5
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 11 月期)	47,947	300	87	△118	△4円91銭

平成 22 年 11 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 12 月 1 日～平成 22 年 5 月 31 日)
 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	22,800	100	100	30	1円24銭
今回修正予想 (B)	22,595	259	247	102	4円25銭
増減額 (B-A)	△204	159	147	72	3円01銭
増減率 (%)	△0.9	159.1	147.5	241.7	242.7
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 11 月期第 2 四半期)	21,099	△2	77	2	8銭

修正の理由

(連結)

第2四半期連結累計期間において、化成品事業は輸出が好調であり、国内市場も徐々に回復傾向となり、順調に推移したものの、医薬・香粧原料事業は市場の価格競争の影響を受け低調に推移し、その結果、売上高は前回予想を下回りました。

営業利益においては、販売費及び一般管理費における本社及び支店の大規模営繕工事の着工遅れにより、当初予定の修繕費計上が先送りとなり、その結果、前回予想を大幅に上回りました。

経常利益は、営業外損益のうち持分法投資利益が減少したこと、貸倒引当金繰入額が増加したものの、上記による影響により、前回予想を若干上回りました。

四半期純利益は、税効果の見直しにより、繰延税金資産の一部の取崩しを行ったことで税金費用が増加し、結果、前回予想を下回りました。

通期につきましては、売上高は、順調に推移すると思われますので、変更はありません。

営業利益についても、販売費及び一般管理費における本社及び支店の大規模営繕工事が下期に終了すると見込まれるため、変更はありません。

経常利益および当期純利益は、第2四半期までの影響を受け、前回予想を下回る見込みであります。

(個別)

第2四半期累計期間は、連結と同様に、売上高は前回予想を若干下回りました。

営業利益、経常利益および当期純利益は、連結での説明のとおり、本社及び支店の大規模営繕工事の着工遅れから、前回予想を上回りました。

通期につきましては、変更はありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上